

令和5年度ラムサールびわっこ大使活動記録



次世代の環境リーダーを育成する目的で平成20年度から実施されている滋賀県のラムサールびわっこ大使事業。令和5年度は、滋賀県内の小学5,6年生から11名の大使が選出され、滋賀県内での4回にわたる事前学習を通じて、滋賀県の豊かな自然と、そこに暮らす人々の暮らしや文化、伝統を学びました。また、佐賀県東与賀干潟への県外派遣においては、現地の東よか干潟ラムサールクラブとの交流を通じて滋賀県の魅力を再発見すると同時に、それぞれの地域で環境を守ろうと活動する方々がいることを知りました。

先日、3月10日に滋賀県副知事への活動報告を実施して、本年度の活動を終了しました。ここで、1年間のびわっこ大使の活動をご紹介します。

～第1回事前学習会（2023年7月9日：滋賀県大津合同庁舎3A会議室）～



びわっこ大使に関わるスタッフの紹介をさせて頂いた後、令和5年度のびわっこ大使に任命状が授与され、大使たちはお互いに自己紹介をして仲を深めました。

びわっこ大使のキーワードは「あいさつ」、「チャレンジ」、「感謝」です。

その後、琵琶湖やラムサール条約について基礎学習を行いました。

第2回事前学習からは、いよいよフィールドに出での活動が始まります。

<参加者>びわっこ大使11名/顧問・講師4名/県関係者2名/財団2名

～第2回事前学習会（2023年8月6日：滋賀県近江八幡市沖島）～



世界的にも珍しい、日本で唯一湖に人が暮らす島である沖島を訪問し、漁師の方に琵琶湖の漁業について教えて頂いた後、実際に沖曳網漁を見学しました。また、「うろり（ビワヨシノボリ）」の佃煮・釜揚げの調理体験や、鮎ずし漬けも行い、琵琶湖の湖魚を使った伝統の食文化についても学習しました。

大使が漬けた鮎ずし樽は、3月10日の副知事報告会にて開封を行い、各自持ち帰りました。

<参加者>びわっこ大使11名/顧問・講師3名/県関係者2名/財団2名

～第3回事前学習会（2023年9月18日：滋賀県長浜市余呉町）～



「水源の森と琵琶湖のつながりを学ぶ」をテーマに、長浜市余呉町の森林にて活動を行いました。兵庫県神戸市から玉ーアクアリウムの皆さんも参加して下さり、普段使っている琵琶湖の源流や森林、そこに根付く文化を一緒に学びました。森林散策の後は、地元の活動団体の協力で「トチ餅作り」を行ったり、森を守るための取り組みとして、滋賀県猟友会様よりシカ駆除についてお話しを聞きました。また、駆除されたシカの有効利用として考えられたジビエカレーを昼食に頂き、命の循環にも触れることが出来ました。

<参加者>びわっこ大使11名/玉ーアクアリウム8名/顧問・講師3名/県関係者1名/財団3名

～第4回事前学習会（2023年11月5日：滋賀県高島市）～



「琵琶湖の宝石」と呼ばれる固有種のビワマスについて、漁法や資源管理の取り組みを学びました。漁業関係者の皆様の協力を得て、ビワマスの採卵体験及び受精作業の見学をさせて頂きました。琵琶湖の大切な資源を守る取り組みの一端に関わることが出来た、大変貴重な体験となりました。

また、ビワマスを使った伝統料理である「アメノイオご飯」作りも行い、皆で協力して最高の味に仕上げることが出来ました。

<参加者>びわっこ大使11名/顧問・講師4名/県関係者1名/財団2名

～世代間交流会（2023年11月26日：琵琶湖博物館及び下物町内）～



びわっこ大使の先輩13名が参加され、草津市下物町で栽培されている「からすま蓮根」の収穫見学と、蓮根を使った調理実習を通じて交流しました。また、佐賀県に伝えたい滋賀県の魅力について意見交換を行いました。

<参加者>びわっこ大使11名/びわっこ大使OB・OG13名/顧問・講師3名/県関係者2名/財団2名

～県外派遣（2023年12月16日～18日：佐賀県東与賀）～



〇1日目

東よか干潟ビジターセンターにて、干潟の環境やそこに生息する独自の生き物について学び、干潟の泥（潟泥）を使った水の浄化実験を行いました。

また、実際に干潟を散策することで、琵琶湖とは全く異なる湿地の環境を学ぶことが出来ました。

〇2日目

東よか干潟ラムサールクラブの皆さんと交流をしました。有明海の干潟の恵みを使った調理実習を行うとともに、それぞれの活動について発表を行いました。琵琶湖の価値を伝えるとともに、東与賀干潟の自然の素晴らしさを知ることができました。



〇3日目

三福海苔株式会社様に受け入れを頂き、有明海の家苔養殖についてお話しを聞かせて頂いた後、工場見学をしました。有明海特有の湿地の環境を活かして作られる佐賀海苔について学び、干潟のワイズユース（賢明な利用）に触れることが出来ました。



滋賀県と佐賀県、琵琶湖と東与賀干潟で違うところや似ているところがたくさん見つかりました。どちらにも共通していたことは、大切な自然環境を守り、将来にわたって伝えたいと活躍する人たちがいることでした。それは地元の方をはじめ、びわっこ大使や東よか干潟ラムサールクラブの皆さんのような存在です。豊かな自然環境を未来に繋げられるように、これからも琵琶湖の価値を学び、伝えていきたいと思いました。

<参加者>びわっこ大使11名/顧問・講師4名/県関係者1名/財団2名

～活動報告会（2024年3月10日：滋賀県庁新館7F大会議室）～



びわっこ大使としての1年間の活動内容を滋賀県の江島副知事へ報告させて頂きました。また、第2回事前学習会で漬けた鮒ずしも贈呈しました。副知事との対談では、「1年間お疲れ様でした。皆さんにとって身近な琵琶湖から、環境を守ろうという思いをこれからも持って下さい。」という言葉頂きました。

<参加者>びわっこ大使11名/顧問・講師2名/江島副知事・森本琵琶湖環境部長・他県関係者3名/財団1名



1年間本当にお疲れさまでした！！

